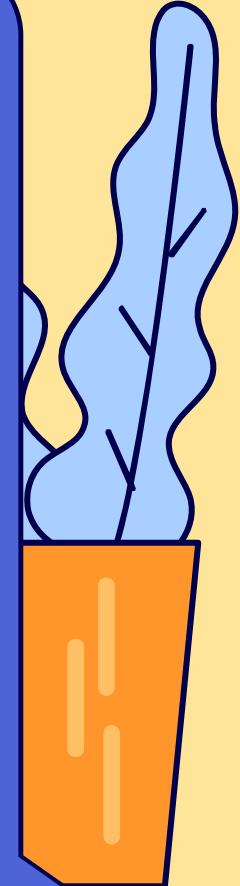




# 国際共修で得られる学びとは？

ICL学生センター 庄子美彩(経済学部経済学科)  
湊洵菜(文学部人文社会学科)



# 構成

- 01 自己紹介**
- 02 国際共修を通して得られること**
- 03 国際共修サポーターの支援**

# 庄子美彩

経済学部経済学科4年

▶4月から政府系金融機関で勤務

## 【国際共修経験】

- ・「留学生の出身国・地域を日本から見る」履修(1年次)
- ・「Understanding Japanese Culture」履修(4年次)

## 【留学＆国際経験】

- ・アメリカ・ニューヨーク州立大学に短期留学(1年次)
- ・スウェーデン・ウプサラ大学に派遣交換留学(3年次)
- ・タイ・タマサート大学にオンライン留学(4年次)

## 【関連活動】

- ・学内でフランス語映画制作プロジェクト「Qui suis-je?」
- ・第4回日独6大学アライアンス(HeKKSaGOn)学生ワークショップ参加



# 湊 淑菜

文学部人文社会学科英語学専修4年

▶4月から大学院教育学研究科グローバル共生教育論コース

## 【国際共修経験】

- ・「Planning and Carrying out Project in Diverse Learning Community」  
履修&サポート
- ・「Exploring Miyagi Local Companies through Interviews」サポート
- ・「Promoting Human Rights Education」サポート etc.

## 【留学＆国際経験】

- ・アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校への交換留学中止(3年次)

## 【関連活動】

- ・科研 基盤研究(B)「アジアの高等教育を牽引する『内なる国際化モデル』の開発」アシスタント
- ・外務省 対日理解促進交流プログラム(JENESYS) アシスタント
- ・国際教育夏季研究大会(SIIEJ)&トヨタ財団特定課題 スタッフ



# 02

国際共修を通して得られること



# 授業で身につく力

## 国際教養力/ 異文化理解力

- ・世界で起きていることを観察・分析・理解する力
- ・主体的に行動する力
- ・異なる文化を理解し受容する力

## ディスカッション能力

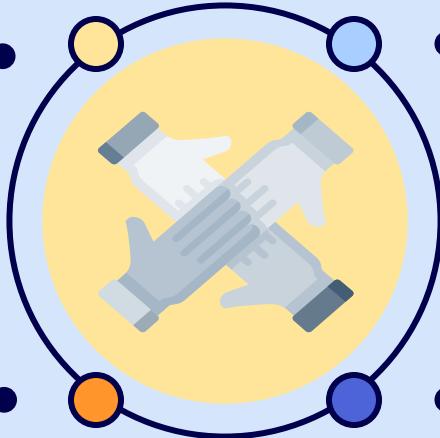
- ・グループ内での役割を意識しながら思考し、議論する
- ・自分の意見を発信する力

## コミュニケーションス キル

- ・初対面の人とも協働する力
- ・傾聴力、他者を理解する姿勢
- ・リーダーシップ
- ・ファシリテーション力

## 語学力/ ICTスキル

- ・言語運用力
- ・ライティングスキル
- ・ICTを効率的に利用する力



## 授業のプロジェクトワークで授業を超えた信頼関係構築



アウトプットの多い講義を通して、国際的な文脈での伝え方を学ぶ



## 異なるコミュニケーション・スタイルから学び合う



社会に開かれた学び場で、課題に向き合いながら自分らしさを発揮する



# スキルはこんな場面にも活きてくる！

## 留学準備/留学後の 学びの発展

国際共修授業では、留学しながら  
の経験をすることができます



## 就職活動

授業内のディスカッションは、就職  
試験でのグループディスカッション  
の土台に



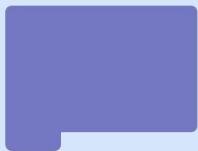
## 課外活動

アイディアを共有し、実現する力  
は課外活動でも応用できます

## 国内外での 研究活動

進学後も世界中の研究者と対等  
な関係を築いていく力作りに

# 独自のリソースを活かして新たなシナジーを生む



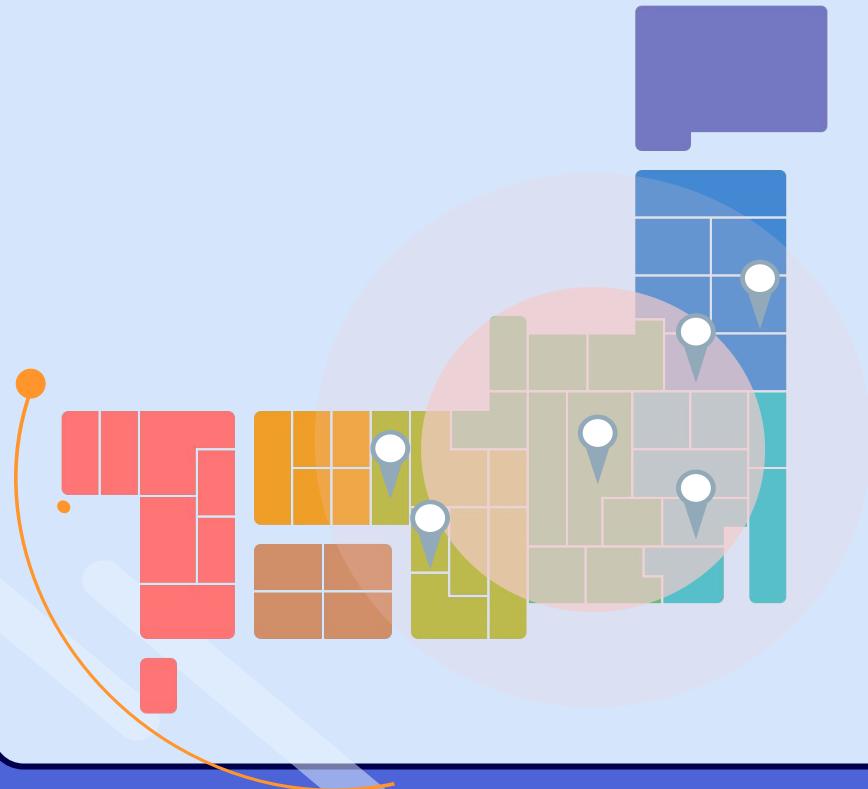
★各大学の強み・特色を反映させた  
6つの学際領域

例)福島大

→震災・復興、地域社会との協働

★他大学の国内学生 & 留学生との  
ネットワーキング

→視野の拡大、効果的な情報共有



□3

## 国際共修サポーターの支援



## 役割

言語や文化背景、国際的成熟度の異なる学生1人1人が**安心して挑戦できる環境**をつくる

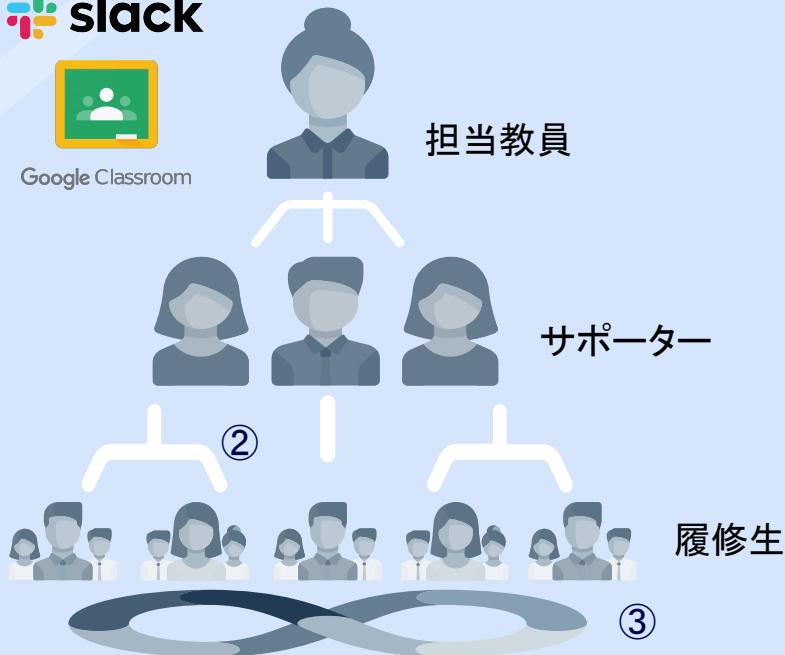
- ▶意味ある交流と個人の成長を促進する

① LMS

slack



Google Classroom



# コロナ禍の組織的サポート

学びを最大化する環境づくり

## ① 効率的な情報共有

→努力の可視化、問題の早期発見・解決

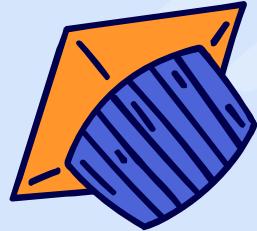
## ② 各グループと担当サポーターの伴走体制

→「一歩踏み込んだ挑戦」を支援

→生じた困難や成し遂げた喜びに寄り添う

## ③ 横のつながりの創出

→サポーターがハブになることで、  
グループの垣根を超えた協力関係を促進



ご清聴ありがとうございました  
ICLプログラムで待っています！

ICLウェブサイトはこちら



Q & Aはこちら  
(国際共修サポートー Twitter)

